

平成 28 年 1 月 27 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行

アユタヤ銀行による在カンボジア金融機関買収について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{ひらの のぶゆき}平野 信行、以下 MUFG）および株式会社三菱東京 UFJ 銀行（頭取 ^{ひらの のぶゆき}平野 信行）の連結子会社である Bank of Ayudhya Public Company Limited（以下アユタヤ銀行）は、在カンボジアの金融機関である Hattha Kaksekar Limited（ハッタ・カクセカー社、以下 HKL 社）の全株主と、アユタヤ銀行の株主総会並びに関係当局の承認を前提に、HKL 社の発行済株式（議決権付）の全株式を取得することで合意いたしました。

1. 本件の目的・背景

カンボジアは、治安情勢の安定、比較的廉価で豊富な労働力、メコン経済圏の中核国であるタイとベトナムに挟まれた地理的優位性などを背景に、7%を超える経済成長を実現しております。また、昨年4月の南部経済回廊（主要都市である「ホーチミンープノンペンーバンコック」を結ぶ幹線道路）開通に伴うインフラ需要の増加や ASEAN 経済共同体（AEC）の発足による域内経済の活性化等により、同国は引き続き高い経済成長が見込まれています。

MUFG および三菱東京 UFJ 銀行は、これまでに、ベトナムの国営大手銀行ヴィエティンバンクへの出資、タイの大手商業銀行であるアユタヤ銀行の買収、ミャンマーの民政移管化後で外銀初となる支店の開業、フィリピンの地場主要商業銀行であるセキュリティバンクとの資本・業務提携等、拠点ネットワークや事業基盤の拡大を通じ、ASEAN やメコン地域におけるお客さまへのサービス提供力の向上に努めてまいりました。

カンボジアにおいては、三菱東京 UFJ 銀行が、平成 24 年 2 月に邦銀として初めてプノンペンに駐在員事務所を開設して以降、現地の経済情報の収集や投資環境の提供等を行ってまいりました。

今回の買収は、アユタヤ銀行が子会社の Ngern Tid Lor Co., Ltd.（以下 Ngern Tid Lor 社、本社 バンコック）を通じて行っている小口事業性金融事業における業務推進面および管理面でのノウハウを活用することにより、同国での小口事業性金融事業への進出を図るものです。

2. HKL 社の概要

HKL 社は、カンボジアで業界 4 位の預金ライセンスも保有する小口事業性金融業者。国内 151 店舗（平成 27 年末時点）を有し、主に個人事業主の支援に従事しております。

（単位：百万ドル）

事業年度	2012	2013	2014
営業収入	17.4	21.0	28.9
税前利益	5.4	5.4	10.2
当期利益	4.4	4.2	8.1
貸出残高	102	144	250
預金残高	44	83	172
店舗数	121	136	142

3. アユタヤ銀行の概要

アユタヤ銀行はタイにおいて 70 年以上の歴史を有し、同国第 5 位の資産規模を誇る商業銀行です。タイ全国における 670 を超える独自拠点網および 26,000 を超える販売代理店網を通して、個人のお客さまから中小・大企業のお客さまに対して、法人業務、消費者金融を含むリテール業務、投資・資産運用等の包括的な総合金融サービスを展開しています。また、アユタヤ銀行およびその子会社は、660 万口座を有するタイ国内最大のクレジットカード発行体であり、オートローン業界でも最大手の一角に位置づけられています。加えて、近年急成長を遂げている資産運用会社 Krungsri Asset Management 社および小口事業性金融事業を営む Ngern Tid Lor 社等も有しています。

4. 業績への影響

今回のアユタヤ銀行による本買収が MUFG および三菱東京 UFJ 銀行の業績に与える影響は軽微です。

以 上